

人々は、うわべや外見、環境等で自己評価をしますが、それでは振り回される人生が終わりません。信者の自己評価はどのようにすべきでしょうか。

1. 成就された契約を信じる幸いな人 (イエスはキリスト)

1)創世記 3:15、出エジプト 3:18、イザヤ 7:14、マタイ 1:21、16:16

人間は創造主の神様によって造られ、神様がともにおられ、神様のかわりに地球を治めるように創造されました。ところが、サタンに惑わされて罪を犯し、神様を離れてしまい、悪魔の子どもの身分になってしまったのです（ヨハネ 8:44）。根本的に滅びるしかない身分で、生まれながら御怒りを受けるべき子、地獄の運命を生きるしかありません。これは、自分では絶対に解決することができないのです。そのような人間を神様が愛してくださいり、罪のない神の御子（女の子孫）を送り、悪魔の頭を踏み碎いて勝利し、犠牲のいけにえとなって、神様とまたともにいるように（インマヌエル）キリストを送ると約束してくださいました。その預言が成就して、キリストが来られました。その名がイエスです。幸いな人は、イエスがキリストだと知り信じる人です。それ以外に罪、滅びの運命から解放されることはできません。これが靈的問題です。ペテロはそのキリストがイエス様だと告白しました。そこで、イエス様はペテロに「幸い」と言されました。ペテロは無学な漁師であり、性格も良くなかったのですが、それとは関係なく、成就された契約を信じたので幸いな人なのです。そうすれば、人生の根本から変えられます。

2) 旧約の預言者や王たちの希望
キリストが来られ契約が成就したのですが、旧約時代には預言者や王たちが、そのキリストを見たいと待ち望んでいたのに見ることができなかったのです。そのイエス様を見たバプテスマのヨハネは、預言者のすべての中でいちばん偉いと言われましたが、天の御国ではヨハネは小さいと言われています。私たちが幸いなのです。このことを脳に刻印しましょう。

3) 世にある良いものでは不可能でありむしろ反対に
成就された契約を信じることは、世の良いものとは比べ物にならないのですが、良い物を持っていると、かえって神様から離れるように、悪魔が用います。良いもので幸せになると思っている考えは変えましょう。

2. 完成された契約を信じる幸いな人

1) ヨハネ 19:30

成就されただけではなく、イエス様は完成されました。その契約を信じるので幸いなのです。十字架で完了したと言われました。悪魔の頭を踏み碎き、罪を贖い、神様がともにおられるので、世界福音化することが可能になりました。それを信じるのが幸いです。

2) ローマ 8:1-2

死と罪の原理からいのちの御靈の原理に移されました。完全に解放される救いの働きです。終わったのです。終わったのに、残っているかのように見えるのは、神様の計画があります。義と認められ、栄光に富む者とされました。十字架は足りないことはありません。だまされずに、終わったからスタートしましょう。

3) ローマ 5:17

イエスがなさったことで、聖靈により、神様の恵みによって信じる人は、すべてが新しくなりました。

4) ピリピ 3:20

天国に入る保証すべてを与えられ完了されました。

5) ローマ 1:17

十字架で終わった信仰から始め、みこころと計画を見ましょう。

過去に対して終わったから始まり、完成された契約を持って恵みを与えられた幸いな者だと感謝しましょう。

3. 生きて働く契約を信じる幸いな人

1) エペソ 1:3、コリント 3:16

初代教会は迫害や四面楚歌の状態になりましたが、それでも関係なく、天にあるすべての靈的祝福を受けた者であり、聖靈が宿る神の神殿です。三位一体の神様、創造の神様が内に宿っておられるので、幸せな者です。

2) 使徒 1:3、1:8、1:7

聖靈が宿る者は教会であり、その人々を通して世界中に神の国が広がるように、神の国が臨みます。完成された契約は動いて行きます。

信者の内で、御座の祝福が動くのです。それを体験しましょう。エルサレムからユダヤ、サマリア、地の果てまでイエスの証人とするために、契約が生きて働きます。植民地であることは知らなくても良いのです。人の評価や現実とは全く関係なく、契約は生きて働きます。契約を信じる者は幸いです。

3) 礼拝は御座のキャンプ、現場には神の国のこと

礼拝のときに、生きて働く救いの契約を信じ、御座の祝福、地の果てまで証人となること、神の国の働きがあることを期待して集中しましょう。御座のキャンプの礼拝です。神様が主の使いを遣わされ、暗闇が打ち碎かれて、神の国のが起こります。

4) アンテオケ、アジア、マケドニア、ローマそして、現場に神の国が臨み、証人となります。237-5000 にまでつながります。自分の現場で神の国が臨むことを体験しましょう。人間的な基準ではなく、契約の信仰を基準にして自分を確認し、幸いな人の自負を持ち、感謝し喜びましょう！

7、7、7 の主人公である自負を持って祈りましょう！

1部-ルカ 10:21-24 幸福者の自負

なるほど/信者は条件や環境などで自己評価をしないで、契約を信じる信仰により自分は幸いな人と自負を持ち、騙されずに伝道者の道歩める。

ならば/自己評価の人間的な基準を捨て、契約を信じる信仰だけを基準にして自分は幸いな人である確信を持ち感謝し、7、7、7 の主人公である自負を持って祈ろう！

2部-マルコ 14:1-9 十字架の価値

なるほど/十字架の絶対価値に目覚める時、既存の価値が崩壊し、その全てが絶対価値の為の土台と道具として聖なる変身を遂げる。

ならば/十字架の前でその絶対価値を黙想しよう！それで既存の価値が絶対価値の為のものとして返信を遂げる真の献身の主人公になろう！